



PIMCO ニューワールドインカムファンド <世界通貨分散コース> (毎月分配型)
第6期分配金のお知らせ

追加型投信/海外/債券

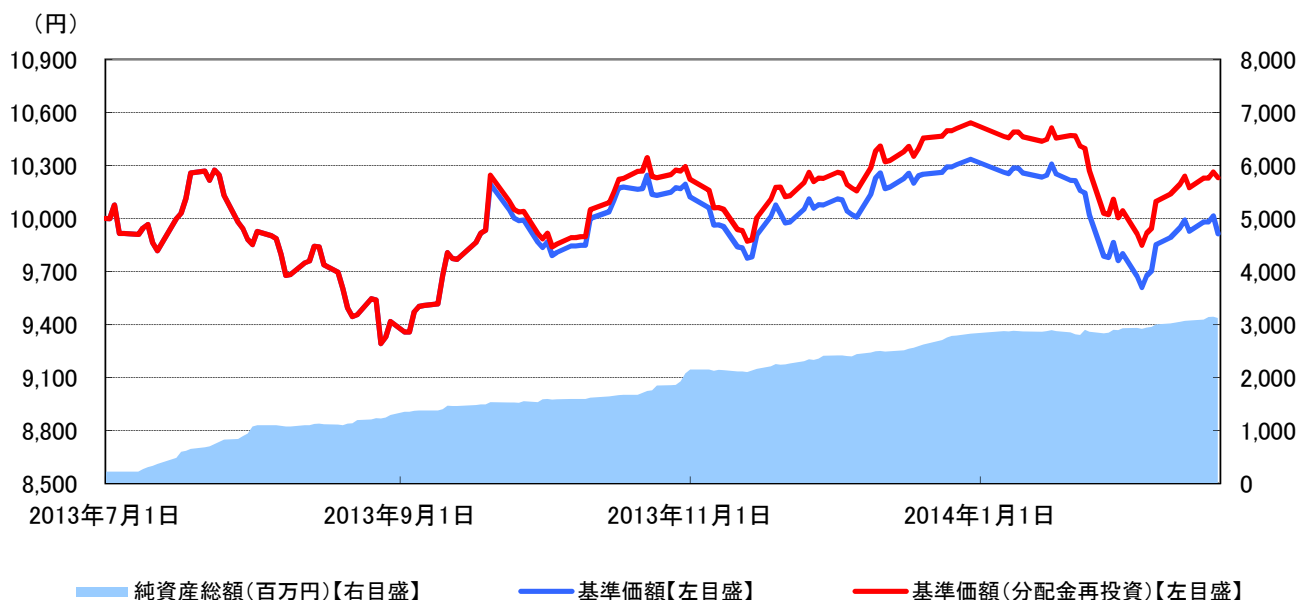
平素は「PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度当ファンドは、2014年2月20日に第6期の決算を迎え、当期の分配金を70円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。なお、設定来の分配金累計は320円(1万口当たり、税引前)となっております。

あわせて、分配金引上げの背景や今後の見通しにつきまして、2ページ以降にQ&Aとしてまとめさせていただきますので、ご高覧いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の推移 (期間:2013年7月1日(設定日)~2014年2月20日)



- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績 (1万口当たり、税引前) (第1期~第6期)

第1期 (13年9月)	第2期 (13年10月)	第3期 (13年11月)	第4期 (13年12月)	第5期 (14年1月)	第6期 (14年2月)
50円	50円	50円	50円	50円	70円

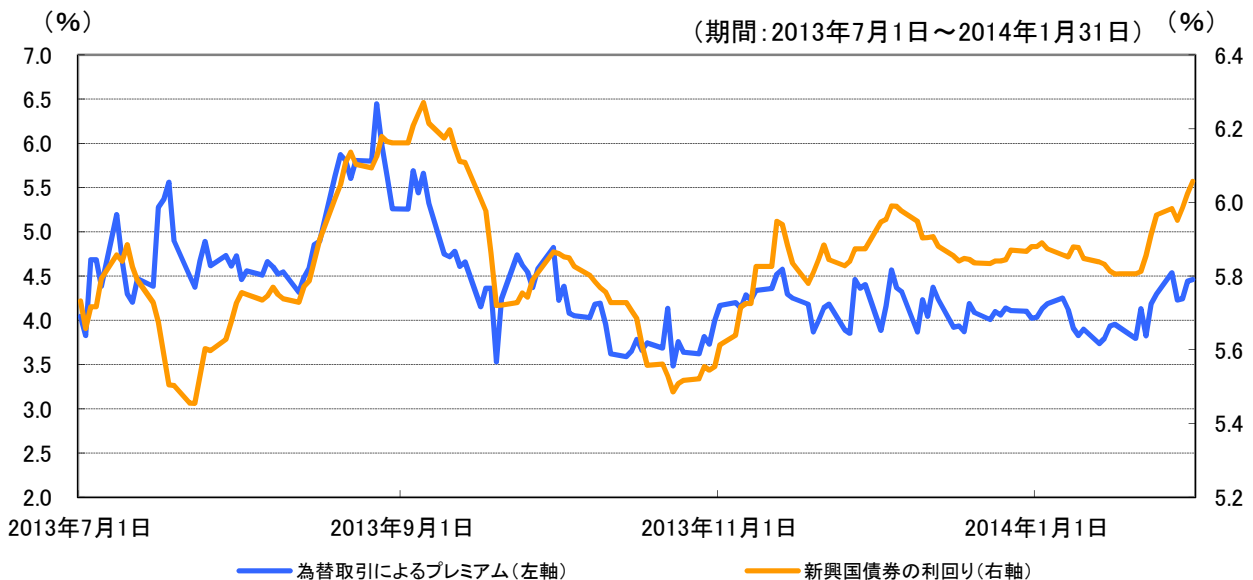
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・基準価額、基準価額(分配金再投資)および分配金は、1万口当たりです。
 ・上記グラフ、数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <世界通貨分散コース> (毎月分配型)
Q1 なぜ分配金が引き上げられたのですか？
A. 新興国債券の利回りや為替ヘッジプレミアムの水準を勘案して、引き上げを行いました。

当ファンドの設定日である2013年7月1日から半年が経過、足下の純資産は約31億円(2014年2月20日現在)となっております。この間、ファンドの基準価額は新興国債券の値下がり等の影響により8月にかけて軟調に推移する局面があったものの、その後は2014年にかけて回復、足下では10,000円前後での推移となっています。このような投資環境の中、当ファンドでは新興国債券の利回りや為替取引によるプレミアム(米ドルと世界通貨分散コースの対象12通貨の短期金利差に相当)の水準を勘案して、分配金を50円から70円に引き上げることいたしました。

新興国債券の利回りと為替取引によるプレミアムの推移


(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。
- ・NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、為替取引によるプレミアム/コストは、理論上期待される短期金利差から大きく乖離する場合があります。

為替取引によるプレミアム/コスト: 各通貨の短期金利(米ドル、英ポンド、ユーロは1ヵ月LIBOR、豪ドル、カナダドルは銀行手形1ヵ月の利回り、ブラジルレアル、メキシコペソ、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラはJPモルガンELMI+の利回り)を使用して三菱UFJ投信にて算出

新興国債券利回り: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの最終利回り

- ・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【当資料で使用している指数について】をご参照ください。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <世界通貨分散コース> (毎月分配型)
Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。
(1) 新興国債券

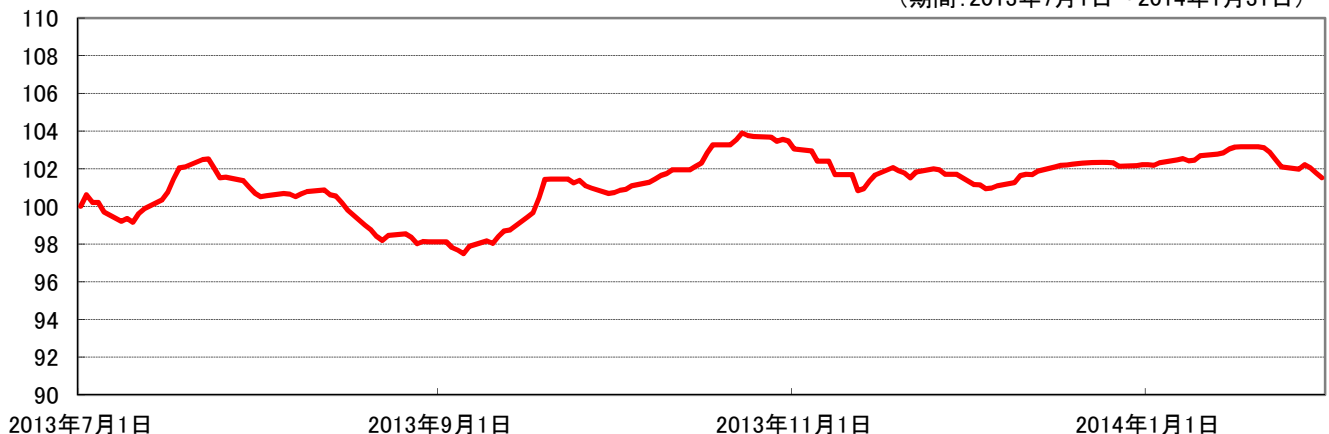
2013年5月以降、市場では米国の量的緩和の縮小に対する観測をめぐり新興国債券をはじめとするリスク性資産は神経質な値動きが見られ、今後も短期的な投資資金のフローの動向に注意する必要があります。その一方で、年金投資家などの長期的な視点に立つ投資家は新興国に対する投資比率が低く、2013年5月から6月に市場が大きく下落した際に積極的に投資を増やす動きも見られており、今後も強い需要が見込まれる点については、新興国資産の中長期的な支援材料になると考えられます。

ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)に目を向けると、新興国はかつての6%程度の成長から減速が見込まれるものの、引き続き新興国が先進国を上回る成長を達成すると予想しています。また、新興国債券への投資を考える上で重要となる支払い能力については、海外資金の巻き戻しが金融危機へとつながった80年代初頭や90年代と比較すると、外貨準備高の積み上げなどにより新興国経済の支払い能力は飛躍的に高まっており、短期的な投資資金の巻き戻しが新たな金融危機に繋がる可能性は低いと考えます。こうした支払い能力の高さや先進国を上回る成長力を踏まえると、足下で新興国関連の資産が調整したことを受けて、一部では魅力的な投資機会も出現しつつあると考えています。

今後は、先進国の金融政策の方向性の変化を受けて、新興国への資金流入は国ごとに選別される動きが強まると予想されます。従って、各国の財政状況や対外収支状況などファンダメンタルズの分析に主軸を置いた投資対象国の選別について重視する姿勢を継続します。具体的には、米国の景気回復による恩恵を受けやすいメキシコ、潤沢な外貨準備高を有するブラジルやロシアといった国々に対して積極姿勢とします。一方、ファンダメンタルズが脆弱で、かつ対外資金への依存度が高いハンガリーやウクライナといった国々は、外部環境からの影響を受けやすい点も考慮し、消極姿勢とします。

新興国債券(米ドルベース)

(期間: 2013年7月1日～2014年1月31日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・新興国債券(米ドルベース)は、2013年7月1日を100として指数化しています。
- ・上記は指数を使用しております。指数については、【当資料で使用している指数について】をご参照ください。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・本見通しなしい分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <世界通貨分散コース> (毎月分配型)
Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。(続き)
(2) 為替

世界経済全般は米国をはじめ先進国中心に2014年は2013年よりも景気拡大ペースが加速すると見込まれます。IMF (国際通貨基金)によると、2014年の世界の実質GDP(国内総生産)は、2013年を0.7%上回る3.7%の成長が見込まれ、特に先進国は2013年より0.9%高い2.2%の成長となる見通しです。この先進国の景気拡大加速・需要増加は、先行き輸出回復等を通じて新興国経済に恩恵をもたらすと考えられます。

また、中国では、政府が2013年11月の三中全会(中国共産党第18期中央委員会第3回全体会議)で、経済の質的向上等を含む広範な構造改革に取り組む方針が示されるとともに、一定の経済成長(当面7%台と考えられる)を持続させる姿勢をみせています。よって、中国経済は短期的には景気減速が見込まれるとしても、その後は輸出回復の他、改革進展に伴って持ち直すことにより、中長期的には安定的な成長が見込まれます。

こうしたことから、先進国の通貨(対米ドル)は、短期的に新興国市場をはじめとする波乱の影響を受ける可能性はあるものの、米国を中心とした景気拡大等の好影響により次第に底堅い動きになるとみられます。新興国の通貨(対米ドル)については米量的金融緩和縮小が続くなか、短期的に波乱含みで推移する局面もあると思われそうですが、その後先進国の景気拡大の恩恵を受けて徐々に落ち着きを取り戻すとみています。また、対円での新興国通貨は、日本の貿易赤字継続や日米の金融政策の方向性の違いにより円安米ドル高の基調が継続するとみられることから、相対的に底堅く推移するとみています。

世界通貨の為替レート推移(対円)

(期間:2013年7月1日~2014年1月31日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・「世界通貨」は豪ドル、ブラジルレアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドルの各変動率の平均を指数化(2013年7月1日=100)したものです(合成通貨値)。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・本見通ししないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

【当資料で使用している指数について】
■新興国債券:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

■新興国通貨の短期金利:JPモルガンELMI+

JPモルガンELMI+とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。JPモルガンELMI+は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

<ご参考>

Q1 基準価額と分配金の関係について教えてください。

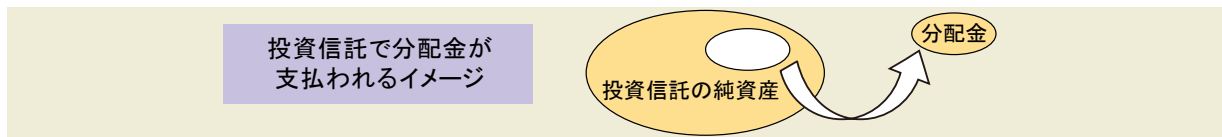
A1 基準価額と分配金はそれぞれが個別のものではなく、合わせて考える必要があります。
基準価額は、投資している資産を時価評価して算出しており、ファンドの運用により得られた
売買損益(評価損益が含まれます)や配当等収益が反映されています。
分配金は、ファンドの運用から得られた収益を受益者のみなさまに還元する手段の一つであり、
分配金をお支払いする場合には純資産から支払いますので、分配金に相当する資産が減り、
基準価額が下落します。(くわしくは、6ページの「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください)

Q2 分配金の少ないファンドは分配金が多いファンドより劣るのですか？

A2 分配金が多い、少ないということだけではファンドの優劣は判断できません。
分配金はファンドの純資産の一部をお支払いしているものです。したがって分配金を引き上げると
その分基準価額が下落することになりますし、分配金を引き下げると基準価額の下落が抑えら
れることとなります。
投資者のみなさまの投資成果は、投資期間中に受け取られた分配金の累計金額と投資期間に
おける基準価額の増減額をあわせて考える必要があります。
したがって、分配金引き下げによりみなさまの受け取る分配金額が減少したとしても、それによ
りその期の投資成果が変わるものではありません。

収益分配金に関する留意事項

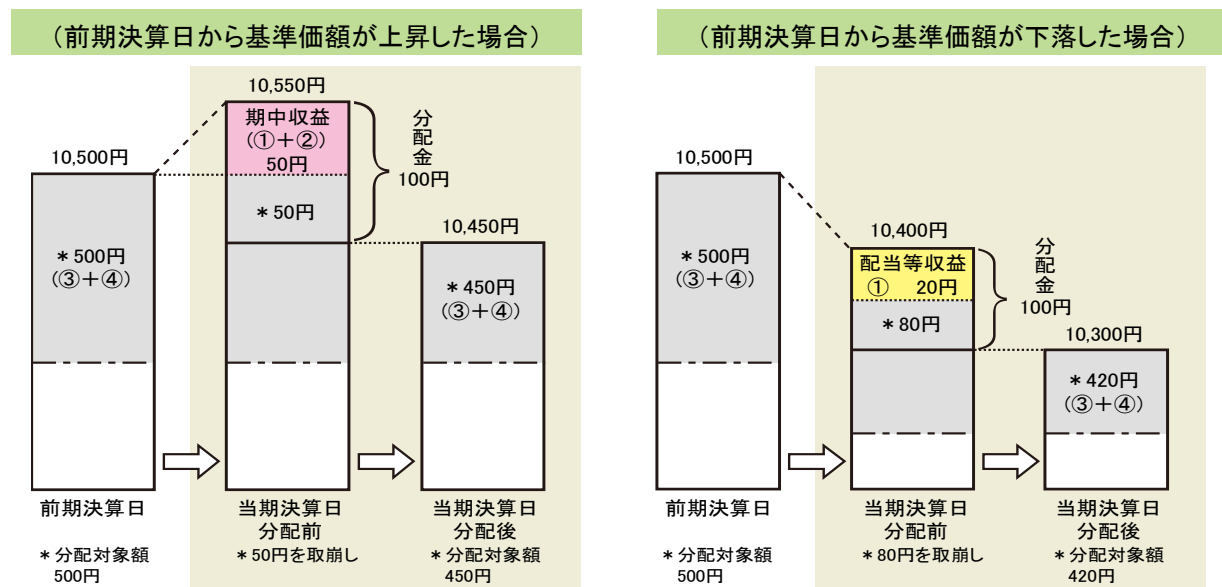
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

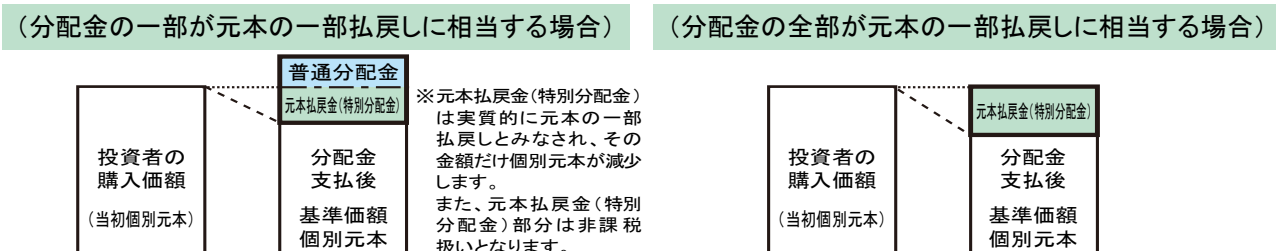


※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

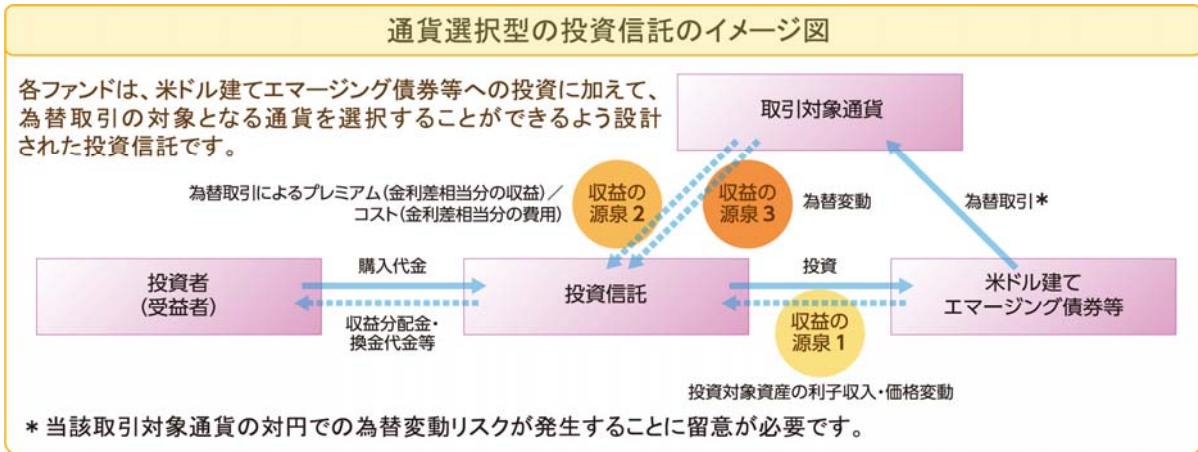


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

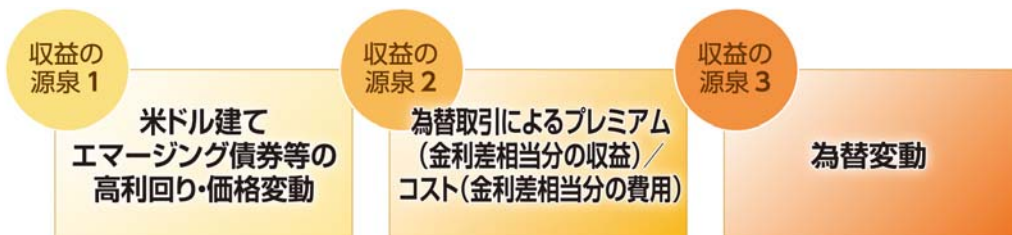
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



PIMCO ニューワールドインカムファンド
ファンドの目的・特色
■ファンドの目的

米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

PIMCO ニューワールドインカムファンドは、以下の8本のファンドで構成される投資信託です。

<豪ドルコース>(毎月分配型)	/	<豪ドルコース>(年2回分配型)
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	/	<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)
<メキシコペソコース>(毎月分配型)	/	<メキシコペソコース>(年2回分配型)
<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	/	<世界通貨分散コース>(年2回分配型)

* 世界通貨分散コースにおいては、12通貨(豪ドル、ブラジルリアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドル)への実質的な配分は12分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が12分の1程度ずつからカイ離する場合があります。

・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券(新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券(ソブリン債券、準ソブリン債券))に実質的な投資を行います。また、エマージング債券と同様の投資効果を持つ派生商品を活用する場合があります。証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

・投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

・各ファンドが投資を行う外国投資信託においては、米ドル建てを中心としたエマージング債券等に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行います。これにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益/差損」が生じます。

・各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該ファンドでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該ファンドでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。

* 為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。

<世界通貨分散コースについて>

・通貨の分散を考慮し、原則として12通貨へ投資を行います。また、各通貨の実質的な配分が概ね均等になることを基本とします。

・組入通貨については、世界各国の長期的な経済構造の変化等を考慮し、入替えを行う場合があります。なお、資本規制等が設けられ、継続的な投資が困難となった場合等には、当該通貨を除外することがあります。

・世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)が投資対象とする投資信託証券については、今後変更となる場合があります。

・豪ドルコース(毎月分配型)、ブラジルリアルコース(毎月分配型)、メキシコペソコース(毎月分配型)、世界通貨分散コース(毎月分配型)は毎月の決算時(20日(休業日の場合は翌営業日))に、豪ドルコース(年2回分配型)、ブラジルリアルコース(年2回分配型)、メキシコペソコース(年2回分配型)、世界通貨分散コース(年2回分配型)は年2回の決算時(6・12月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<スイッチングについて>

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。なお、販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

<主な投資制限>

・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。

・外貨建資産への直接投資は行いません。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用…三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

PIMCO ニューワールドインカムファンド

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

「世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)以外の各コース」

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

「世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)」

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、世界通貨買いの為替取引を行うため、当該世界通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

*世界通貨は、豪ドル、ブラジルレアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドルが各々12分の1程度ずつで構成されます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2014年の該当日は1月20日、2月17日、4月18日、5月26日、7月4日、9月1日、11月11日、11月27日、12月25日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型） 2021年6月21日まで（2011年3月31日設定） メキシコペソコース（毎月分配型） 2021年6月21日まで（2013年1月16日設定） 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型） 2021年6月21日まで（2013年2月20日設定） 世界通貨分散コース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 2021年6月21日まで（2013年7月1日設定）
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 世界通貨分散コース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 投資対象とするすべての外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 各ファンド（世界通貨分散コース（毎月分配型）、世界通貨分散コース（年2回分配型）を除く） 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型）／メキシコペソコース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（毎月分配型） 毎月20日（休業日の場合は翌営業日） 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 毎年6・12月の各20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型）／メキシコペソコース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（毎月分配型） 毎月の決算時に分配を行います。 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。（2014年1月1日以降）

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額× 3.15% [*] (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。 ※消費税率が8%となる2014年4月1日以降は、 3.24% となります。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.7325% [*] (税抜 年1.65%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。 ※消費税率が8%となる2014年4月1日以降は、 年1.782% となります。
------------------	--

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%^{*}(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万円当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万円)×100万口×3.15%^{*}=31,500円^{*}となり、合計1,031,500円^{*}をお支払いいただくことになります。
※消費税率が8%になった場合は、手数料率3.24%、購入時手数料32,400円、合計1,032,400円となります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



